

MB150D・MB150L

メールボックス（郵便受箱）



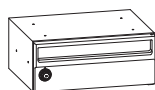
施工説明書

このたびは、メールボックスをご購入いただきありがとうございました。
正しくお取扱いいただくため、ご使用前にこの説明書をよくお読みください。
またご使用になる方がいつでもご覧になれるように必ず保管してください。

製品規格

- 仕様：前入前出型
- 標準錠：MB150D：ダイヤル錠 MBDL4 / MB150L：ラッチロック錠 MBLL2
- 材質：本体：ステンレス(SUS304)No.4仕上 厚み0.7mm
扉：アルミダイカスト(ADC12)アクリル樹脂焼付塗装仕上
投函口カバー：ABS樹脂(透明) 投函口寸法：35×334
- 名札板寸法：43×333

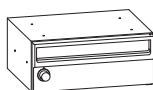
製品形状



メールボックス
MB150D



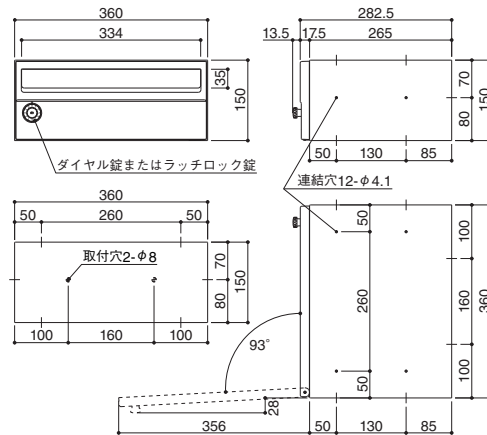
MBDL4 MBDL5
ダイヤル錠



メールボックス
MB150L



ラッチロック錠
MBLL2



製品概要

- 屋内に使用する郵便受箱です。
- 角型2号封筒(240×332)・A4書類(210×297)が楽に入る設計。
- MB150Dはダイヤル錠付です。(扉開閉に錠不要)
- MB150Lはラッチロック錠付です。(レバーに南京錠(別途)を取付けるタイプ)
- 郵便受箱取付用 トラス頭タッピンネジφ4mm×25mm：2ケ ワッシャーφ5mm用：2ケ
- 郵便受箱連結用 トラス頭小ネジφ4mm×6mm：6ケ 袋ナットφ4mm用：6ケ ワッシャーφ4mm用：6ケ

お手入方法

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を布に含ませて拭いてください。洗剤使用後は、洗剤が残らないよう必ず水拭きしてください。その後、カラ拭きして水分を完全に取ってください。
- ⓧ 製品をお手入れする際は、化学薬品(シンナー・ベンジン・アルコールなど)やクレンザー・タワシなどは使用しないでください。キズ・変色・塗装のはがれ・腐食などの原因になります。

⚠ 注意



注意 この表示は取扱いを誤ると『障害』または『物的障害』を負う可能性が想定される内容です。



この表示は行為の『禁止』を示します。



この表示は行為の『強制』を示します。



製品を確認してください。
本製品は住宅屋内に使用する郵便受箱です。これ以外の用途には使用しないでください。不具合が生じた場合保証できなくなります。
製品を施工する前に製品の種類・サイズなどが施工箇所に適合しているか、製造不良・作動不良・搬送中の破損などが無いかを必ず確認してください。



施工箇所を確認してください。
製品を取付ける前に、取付壁面の強度は十分であるか、補強材を設けているか、段差や異物などが出していない事を必ず確認してください。
強度不足・施工不良による転落事故などの原因になります。



取付工事は手袋を着用して行ってください。
指紋・手垢などの付着防止及びケガ防止のため必ず手袋を着用してください。



雨水のかかる場所には設置しないでください。
屋内用の郵便受箱です。防水設計ではございません。



郵便物の取出しに支障のない場所に設置してください。
極端に高い所や低い所には設置しないでください。また、扉の開閉や歩行のスペースが確保できない場所には設置しないでください。



製品取付時に製品の状態を検査、確認してください。
製品の天地が逆転していないか、ゆがみ・ねじれがなく水平・垂直が保たれているか、ネジ類の締忘れがないか、扉の開閉操作・施錠装置の操作に支障がないか、ルームナンバーが付いている場合、配列は正しいかなどを確認してください。



取付後の製品に養生を施してください。
製品の取付後に周囲の壁・床などの工事を行う場合は、必ず十分な養生をしてください。
ホコリなどが付着したまま放置されますと、錆びが発生するおそれがあります。

－ 操作方法・取付方法は裏面をご覧ください －

ダイヤル錠の操作方法

開錠方法

はじめに親番号を指示方向へ2回転以上回して、目盛りに合わせてください。
次に子番号を指示方向へ回して、目盛りに合わせて開錠します。
ツマミを手前に引くと扉が開きます。

注意 ダイアル錠の番号は目盛りの位置に確実に合わせてください。
無理に開けると故障の原因になります。

ダイヤル錠の操作例(下図: MBDL4)

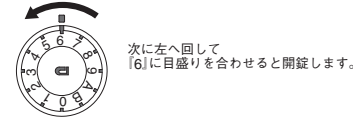
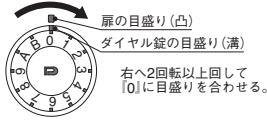
● 開錠番号

親番号: 0
子番号: 6 の場合

● 開錠番号シールの表示

右へ2回→0
左へ1回→6

※ 開錠番号シールは必ず保管してください。
取扱説明書に貼っておくと便利です。



施錠方法

扉を開けてダイヤルを子番号と同じ方向へ1回転以上させてください。

注意 1回転以上回さない場合、次回、開錠する時子番号を合わせただけで開く場合がございます。

ダイヤル錠の操作例(下図: MBDL4)



ラッチロック錠の操作方法

開錠方法

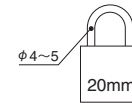
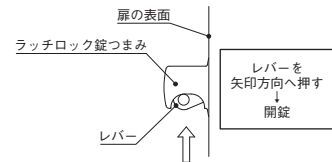
レバーをつまむと開錠します。

注意

- 扉を開ける時は、必ずレバーをつまんだまま、ツマミを手前に引いてください。
- ツマミのみ(施錠した状態)で引くと、故障の原因になります。
- 必ず開錠した状態で扉を開けるようにしてください。
- ラッチロック錠だけでは施錠できません。
- 市販の南京錠(サイズ20mm・φ4~5程度)をレバーに取付けてご使用ください。



南京錠取付時



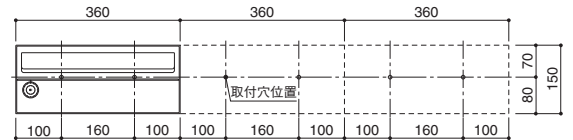
取付方法

注意 製品を上下・左右に連結して使用する場合、1台あたり製品寸法に加え1mm程度のクリアランスをお取りください。
とくに、決められた躯体内・鉄骨(アルミやステンレスなどで作られた)枠などに取付ける際は、必ず考慮してください。

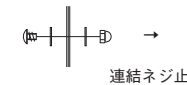
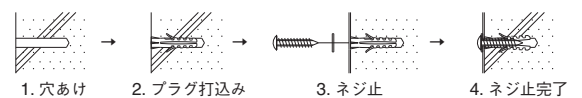
- 郵便受箱を付属の取付ネジ及び連結ネジなどを使用して、下記の『取付方法』をもとに取付けてください。
- 郵便受箱が複数ある時は、最下段から取付けてください。後の調整が容易になります。
- 複数台取付けの際、特に支障がない場合は3台まで連結してから取付けてください。

本体取付方法

1. 取付壁面を確認した後、右図の取付ネジ穴ピッチを参考にして、穴あけの位置決めをしてください。
2. 取付ネジ穴の位置に、ドリルでφ6mmの穴をあけてφ6mmのナイロンプラグを打込んでください。
※ナイロンプラグは付属していません。
3. 製品を取付位置に配置し、郵便受箱の扉を開け、製品の内側から付属の取付ネジで仮止めしてください。
4. 最下段の取付けが終わったら、次の段も同じ方法で繰返し行い、全数を仮止めしてください。
5. 上下及び左右の郵便受箱の連結をしてください。
6. 連結終了後、仮止めの取付ネジを強固に締付け、取付けを完成させてください。

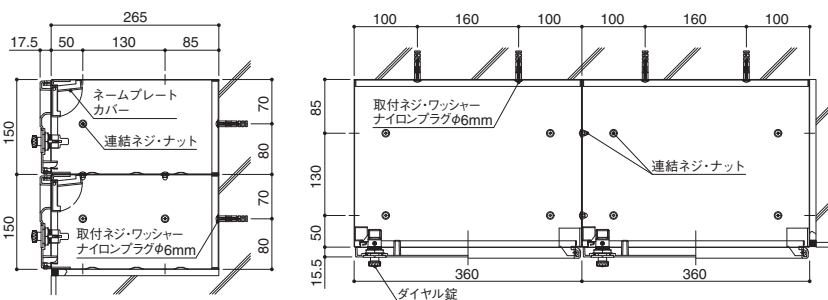


<取付ネジ穴ピッチ>



連結ネジ止

標準取付図



取付完了検査

1. 製品の天地が逆転していないか、ゆがみ・ねじれがなく水平・垂直が保たれているか確認してください。
2. ネジ類の締忘れがないか確認してください。
3. 扉の開閉操作に支障がないか確認してください。
4. 施錠装置の操作に支障がないか確認してください。
5. ルームナンバーが付いている場合、配列は正しいか確認してください。
6. 取付完了後、実際に使用するまでの間、製品を養生してください。

保険の付保

当製品には、優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付いており、製造及び施工の瑕疵に起因する不具合などにつきまちは無償修理保証されます。当製品を施工説明書などで指示された施工方法に適合する方法で施工を行ったものは、上記保険の被保険者として、施工に関する瑕疵担保責任及び瑕疵に起因する損害賠償責任を負う際に保険金を請求する事ができます。万一、弊社または設置工事施工者が倒産などしている場合、弊社などによる瑕疵保証責任などに代わる措置が(一財)ベターリビングから受けられます。詳細につきましては、大建プラスチック(株)または(一財)ベターリビングへお問合せください。